

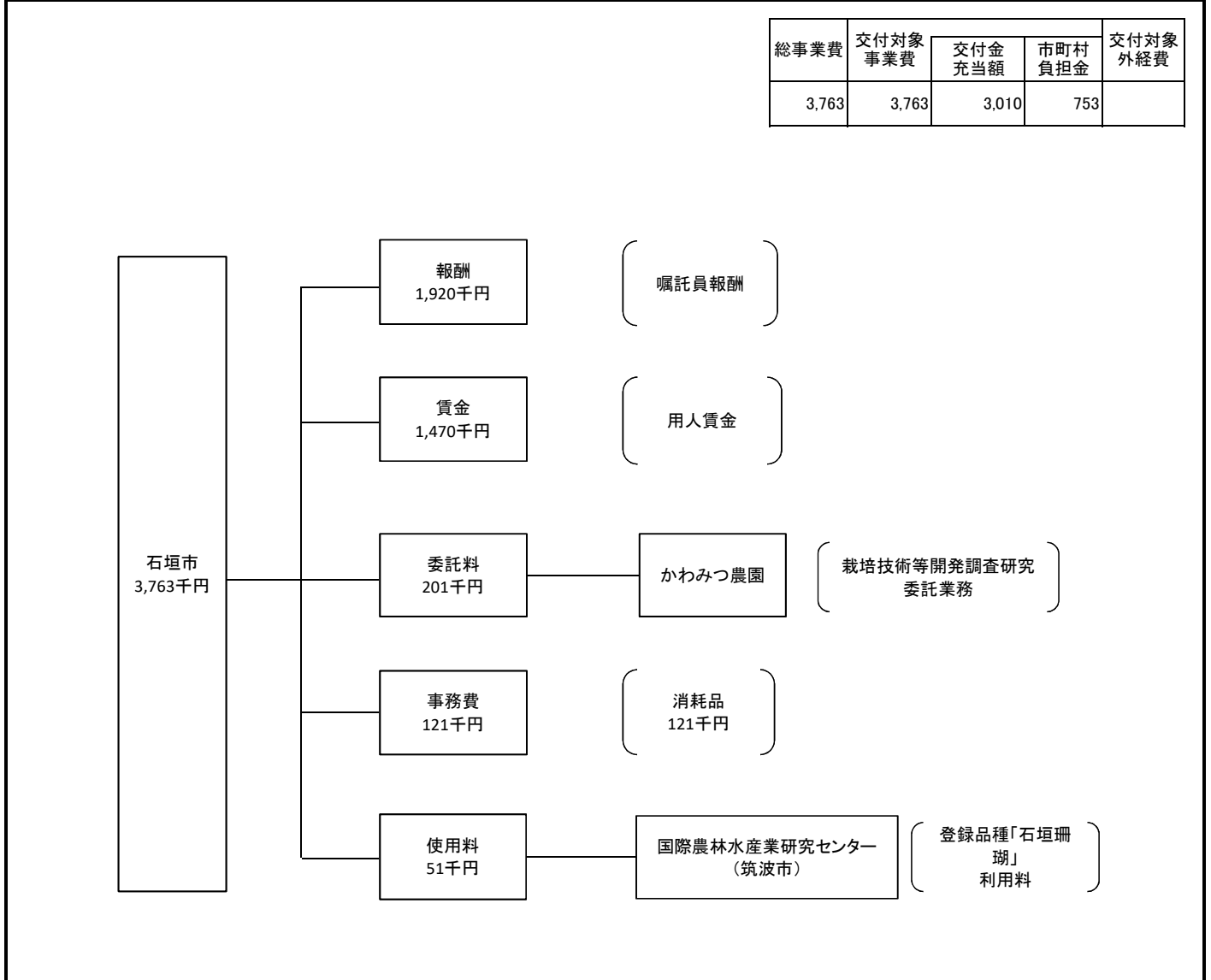
市町村名		石垣市					
平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-①	熱帯果樹栽培研究事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	3-3-(7)-ア		
	担当部課名	農林水産部 農政経済課	事業実施(予定)年度	平成24~27年度	沖縄振興基本方針該当箇所	おきなわブランドの確立と生産供給体制の整備 Ⅲ-1-(6)	
事業内容	熱帯果樹産業の振興を図るため、石垣市パパイヤ研究所のノウハウを活用し、パパイヤを使った食材の研究、商品化やパパイヤ以外の熱帯果樹の栽培研究を行う。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	6,323	6,294	6,536		
		(b) 予算現額	6,323	6,294	6,536		
		(c) 増減額 (b-a)	0	0	0		
		(d) 繰越額	-				
		A. 計 (b+d)	6,323	6,294	6,536		
	B. 執行済額		4,033	6,057	3,763		
	うち交付金充当額		3,226	4,846	3,010		
	次年度繰越額		0	0	0		
	執行率 (%) (B/A)		63.8%	96.2%	57.6%		
予算の状況の説明		研究員の退職に伴う報酬額及び関連する研究費の減額により執行率が当初予定より下がった。					
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	育種及び栽培研究	目標	(栽培研究)	(栽培研究)	(栽培研究)	()	
		実績	栽培研究の実施	栽培研究の実施	栽培研究の実施		
	熱帯果樹苗配布	目標	(0)	(苗配布)	(苗配布)	()	
		実績	0	配布済	未配布		
達成状況説明	育種及び栽培研究については、マンゴー根域制限栽培研究を平成24年度より引き続いて実施した。マンゴーの根域栽培技術の実証については、新栽培技術の実証区と既存の栽培技術を比較した生育状況調査が複数年必要である。苗の配布については、パッションフルーツの苗の配布を予定していたが、苗の親木が台風で発育不良となり十分な数の苗を確保することができず、未配布となった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(R3年度)
	①パパイヤの優良矮性品種の候補の選抜	目標	()	()	()	(2個体)	(2)
		実績				2個体	2個体
	②マンゴー根域制限栽培の検証(連年結果)	目標	()	()	(検証)	(検証)	(検証)
		実績			検証	検証	検証
	③パッションフルーツの種苗配布(300株)	目標	()	()	()	(300株)	()
		実績				未配布	
【参考指標】 ④優良矮性品種の栽培農家数(パパイヤ)	目標	()	(1)	(1)	(1)	(3)	
	実績		0	0	0	1	
進捗状況説明	「パパイヤの優良矮性品種の候補の選抜」については、平成27年度にパパイヤ研究所が閉鎖され現在取組は行っていないが、品種選抜業務に携わる専門職員の配置が必要ながかった。 「マンゴー根域制限栽培の検証(連年結果)」については、土壌水分、肥料のコントロールが難しく、開花、着果にばらつきがあり、収量が低下した。また、気候の特性上、土壌の蒸散が激しく、土壌水分、肥料のコントロールが難しいため石垣島においては根域制限栽培は向かないことが分かった。 「優良矮性品種の栽培農家数(パパイヤ)」については、矮性品種の育成ができなかったことや高価な栽培施設を導入することが困難であったため、栽培農家を増やすことには至っていない。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	(パパイヤの優良矮性品種の候補の選抜) ・石垣市パパイヤ研究所が平成28年3月31日をもって閉鎖したため、選抜は現在行っていない。	(パパイヤの優良矮性品種の候補の選抜) ・市独自で、専門家の設置は難しいので、苗の選抜を行う際は、国、県等へ協力が必要不可欠と分かった。
	(マンゴー根域制限栽培の検証(連年結果)) ・根域制限をかけることで、土壌中の水分、肥料のコントロールが通常栽培と比べ難しいため、経済的な栽培ができないことが分かった。	(マンゴー根域制限栽培の検証(連年結果)) ・亜熱帯気候に属する本市では、土壌水分の蒸散が激しく、また土壌水分、肥料等のコントロールが難しいので、経済的な栽培が不可能と分かった。
	(優良矮性品種の栽培農家数(パパイヤ)) ・台風被害を考慮した施設導入や施設が高価となるため、新規農家を増やすことが難しかった。	(優良矮性品種の栽培農家数(パパイヤ)) ・台風被害に耐えうる、安価なハウスの導入を検討する必要がある。

今後の取り組み方針

(パパイヤの優良矮性品種の候補の選抜)
・選抜試験を行う専門職員の確保に取り組む。
(マンゴー根域制限栽培の検証(連年結果))
・亜熱帯気候に属する本市では土壌中の蒸散が激しく、土壌水分、肥料等のコントロールをすることが不可能と分かったので、根域制限栽培は本市には向いていないことが分かった。
(優良矮性品種の栽培農家数(パパイヤ))
・矮性品種の選抜が出来なかったこと、台風に耐えうることができる施設の必要性を踏まえ、適正な規格・機能を満たした、安価な施設の導入に向けて検討を進めることとする。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の 用途の 流れ、 費目、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○研究員の想定外の早期退職により人員不足が生じてしまい、執行率が低下している。 ○費目・用途は必要最低限なものに限っており適切であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	